

提 供 日 2026/08/31

タイトル 【県内初確認】葉しょうがの病害「ショウガ褐色しみ病」

担 当 経済産業部 農林技術研究所病害虫防除所

連 絡 先

TEL 0538-36-1543



幸福度日本一の静岡県

【県内初確認】 葉しょうがの病害「ショウガ褐色しみ病」

●要旨

県内で初めて、「ショウガ褐色しみ病」の発生が確認されました。今後、本病の発生及び被害の拡大が懸念されるため、令和8年度病害虫発生予察特殊報第1号を発表し、生産者に対して注意喚起を行いました。

●概要

1 病害虫名 ショウガ褐色しみ病
病原菌 *Musidium stromaticum* (W.Gams & R.H.Stover) Giraldo López & Crous

2 発生作物 葉しょうが（ショウガ科）

3 発生経過

- (1) 県中部の葉しょうが産地において、以前から収穫時に根茎表面の着色、へこみ等の症状により、生産物の廃棄や、商品価値が低下する事例が発生していました。
- (2) 当該の根茎から、静岡県農林技術研究所で菌の分離、観察、接種を行ったところ、ショウガ褐色しみ病菌と形態の特徴が類似し、ショウガ根茎切片に腐敗性を示す糸状菌が分離されました。
- (3) 分離菌を農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、形態観察、病原性試験、塩基配列解析により、*Musidium stromaticum*と同定した旨の連絡がありました。したがって、本症状は本県未発生のショウガ褐色しみ病と診断されたことから、病害虫発生予察特殊報第1号を発表しました。

4 発生状況

本病は、令和元年に高知県で初めて発生が確認され、その後、和歌山県、岡山県で発生が報告されています。

5 病徴

- (1) ショウガの根茎表面に、褐色で円形～不整形の病斑が形成されます。当県の葉しょうがでは、根茎のへこみや裂開症状からも同菌が高率で分離されています。
- (2) 地上部の症状はほとんど認められない場合が多いです。

6 発生生態

種根茎による病原の持ち込みや、土壌伝染が疑われます。

7 防除対策

- (1) 本ぼ、種根茎ほ場ともに健全な種根茎の確保に努めましょう。
- (2) 本ぼ、種根茎ほ場ともに定植前に土壌消毒を実施してください。
- (3) 本症状が確認されたほ場で用いた機材は、洗浄、消毒し、健全ほ場への病原の持込みを防止しましょう。

8 特殊報の提供先

農協等の指導機関に提供するとともに、病虫害防除所ホームページで情報を公開します。

9 情報の問合せ先

病虫害防除所 電話 0538-36-1543